

# そらんぽ便り Vol.98

☎ 博物館・プラネタリウム (TEL) 355-2700 (FAX) 355-2704

## 注目の天文現象

### 土星食！

今年の終わり、注目していただきたい天文現象に「土星食」があります。土星食とは、土星の手前を月が通過し、見かけ上、土星が月に隠されてしまう現象です。

12月8日の土星食は、日の入り後に暗くなっていく空（18：00～19：00ごろ）で起こります。また、土星食が見られるのは、日本列島の南東側の地域です。しかし、地域によっては食が起らず、月と土星が接近して見えるだけになる所もあります。

本市では、月の上縁、特に欠け際<sup>じょうえん</sup>の縁あた



「ステラナビゲーター11」による四日市市2024年12月8日19：02のシミュレーション

りから土星が月に隠れていき、上図にあるような位置から出現すると予想されています。

今回、土星食を起こすのは、ほぼ半月の上弦の月です。土星は1.0等級の明るさがありますが、月の輝きに負けて、肉眼では見づらいかもかもしれません。出現の様子を見る際は、双眼鏡や望遠鏡を使うと観察しやすくなるでしょう。

冬は夜の時間が長い季節でもあります。ぜひ夜空に意識を向けて、楽しんでみてはいかがでしょうか。

# 文化財さんぽ

☎ 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873

## 200年以上つながっている

### 善八水道

江戸時代、村の庄屋などが私財を投じて、用水やマンボ<sup>かんがい</sup>（灌漑用のトンネル）を掘り、田畑に水を引く事業が各地で行われました。山村町の「善八水道」もその一つです。

江戸時代の山村は、雨水に頼る生活であったため、干ばつに苦しめられていました。見かねた大庄屋の伊藤善八は文化10（1813）年、地下水路の建設を決意しました。

現在の山村ダムがある場所は、かつて3つのため池と水田がある谷でした。伊藤善八は、この場所から十王山の山腹を掘り抜き、世尊寺<sup>せそん</sup>の横へトンネルを通し水路を完成させまし



世尊寺にある「善八水道之碑」（山村町）

た。穴の高さは1.3m、幅は0.75mで、長さは230mにもわたり、3年がかりの大仕事でした。

現在は、危険なため出水口は鉄格子で塞がれていますが、山村ダムの堤の前にあるポンプ場から吸い上げた井戸水は、今も善八水道を通して田畑に供給されています。

世尊寺には、昭和27（1952）年2月に建てられた「善八水道之碑」があります。今もなお恩恵をもたらす先人の功績への敬意の念が感じられます。